

McCANN HEALTH

CMC サポートによる田辺三菱製薬エダラボン論文、 ランセット・ニューロロジー誌に掲載

【2017年6月16日：東京発】

マックアンヘルズ(株式会社マックアンヘルズケアワールドワイドジャパン(代表取締役社長ジャック・ブレイキー、本社：東京都港区)は、臨床試験の論文文化サポート業務を提供した田辺三菱製薬株式会社(本社：大阪市、代表取締役社長：三津家 正之)の日本製品名：「ラジカット®注 30mg、ラジカット®点滴静注バッグ 30mg」、米国製品名：「ラジカヴァ(RADICAVA™)」、一般名：エダラボンの筋萎縮性側索硬化症 (amyotrophic lateral sclerosis: 以下、「ALS」)に対する臨床試験(検証的試験)の成績に関する論文が The Lancet Neurology 誌に掲載されましたので、お知らせいたします¹⁾。

本論文は、比較的軽度なALS患者さんに本剤を6か月間投与したところ、プラセボを投与した時と比較し、ALS機能評価スケール(ALSFRS-R)により評価された日常生活動作障害の進行が約33%抑制されたことを報告しています。

論文掲載にあたっては、マックアンヘルズ傘下のMDS-CMG株式会社(代表取締役社長：大根田和子、本社：東京都港区)のメディカルコミュニケーション部門であるCMCが担当しました。CMCでは、論文・学会発表における国際的資格をもつ担当者が、メディカルライティング・サポートおよび論文投稿や査読対応業務を担い、国際的なGood Publication Practice 3 ガイドライン²⁾に準拠した方法で、論文著者であるアカデミアおよび製薬研究者の方々を効果的にサポートしています。

CMCは、製薬企業に戦略的なメディカルコミュニケーション業務を提供するために設立した部署で、製薬企業がメディカルアフェアーズ活動の柱とする論文出版・学会発表のプランニングにおいても質の高いサービスを提供、論文・学会発表における国際的資格をもつ担当者の育成に注力しています。

マックアンヘルズの代表取締役社長のジャック・ブレイキーは、この度の論文掲載に関して、「臨床神経内科における最高峰の医学誌に論文が採用されたことを大変喜ばしく思っています。加えて、弊社もグループ内にALSと闘う社員がいることもあって、彼が設立したALS治療を目指す一般社団法人END ALSを社会貢献活動としてサポートしていますが、こうした医科学的エビデンスを一つずつ積み上げるという研究面へのサポートができたことを誇りに思います。そして治療法の乏しい疾患の患者様に選択肢が増えつつあることを広くお伝えし、さらに貢献したいと考えています」と述べています。さらにMDS-CMG社長の大根田和子は「製薬企業実施の臨床試験結果を論文文化するには、Good Publication Practice 3 ガイドライン²⁾に則り、透明性の高い方法で企業研究者も著者グループに加わって報告するという基本があります。本論文はその模範的な事例です。診療領域におけるトップジャーナルでの採択は、信頼できる医科学情報であることを示します」と述べています。

The Lancet Neurology 誌は 2002 年 5 月に創設された医学誌で、独自研究、レビュー、見解、さらには世界中の神経内科に関連した国際的な記事を掲載する月刊誌です。本誌のインパクトファクター(文献引用影響率)は、臨床神経内科のカテゴリ193 誌の中で最高の 23.468(2013 Journal Citation Reports®, Thomson Reuters 2014)。臨床神経学とその関連領域の研究、レビュー、ニュース(特に脳卒中、多発性硬化症、運動障害、てんかん、頭痛、痴呆)を掲載し各種産業・株式市場といった多方面で強い影響を与え続けています。

田辺三菱製薬について

田辺三菱製薬は創業330年を超える歴史をもち、2016年度の連結売上高は4,239億円、連結従業員数は7,280人。自己免疫疾患、糖尿病・腎疾患、中枢神経系疾患、ワクチンなどの医療用医薬品が売り上げの大半を占める。三菱ケミカルホールディングスグループ各社との連携により、予防医薬、再生医療など創薬活動にも積極的である。

田辺三菱製薬に関するさらに詳しい情報は <http://www.mt-pharma.co.jp/index.php> をご覧下さい。

マッキャンヘルスについて:

マッキャンヘルスは、2016年のカンヌライオンズにてヘルス・ネットワーク・オブ・ザ・イヤーと2016年グローバル・アワード・ヘルスケア・ネットワーク・オブ・ザ・イヤーを受賞した、世界で最多受賞の実績を持つグローバル・ヘルスケア・マーケティング・ネットワークです。マッキャンヘルスは、医療従事者および消費者向けコミュニケーションを専門とし、ヘルスケア／ウェルネス分野において世界で最も広い情報網を持つ専門家たちが集まっています。マッキャンヘルス(www.mccannhealth.com)はネットワークに、マッキャン・トーレラザール、マッキャンヘルスケア(医療従事者向けコミュニケーション)、マッキャンヒューマンケア(消費者向けヘルスおよびウェルネスのコミュニケーション)の3つの大規模なグループ会社から成り立ち、他にも高い専門性を有する、コンサルティング・アット・マッキャンヘルス(戦略的コンサルティング)、マッキャンエコー(医療従事者向けコミュニケーション)、マッキャン・グローバルヘルス(公共医療)、マッキャン・ファーマシー・イニシアティブ、マッキャン・マネージマーケット、およびマッキャンコンプライトメディカル等のビジネスユニットを有しています。マッキャンヘルスは、マッキャン・ワールドグループのグループ会社であると共に、インターパブリック・グループ傘下のヘルスケア・エージェンシー・ネットワークでもあります。日本のマッキャンヘルスはCampaign誌のAgency of the Year賞で日本/韓国地域の“Specialist Agency of the Year スペシャリスト・エージェンシー・オブ・ザ・イヤー”金賞を受賞し、トップに返り咲きました。マッキャンヘルスにとって7年連続の受賞です。

日本サイト: <http://www.mccannhealth.co.jp/>

一般社団法人END ALS

ALS患者であり現役の外資系広告会社の広告プランナーである藤田正裕が2012年9月に立ち上げた一般社団法人。その活動目的はALSの現状認知理解を広く世の中に促すこと。

1) 治療法の確立に尽力する 2) ALS患者が社会の一員でありつづけられるために、政府の医療政策の革新を促すことを使命としています。

参考文献

1. Safety and efficacy of edaravone in well defined patients with amyotrophic lateral sclerosis: a randomised, double-blind, placebo-controlled trial. The Writing Group on behalf of the Edaravone (MCI-186) ALS 19 Study Group, Lancet Neurology. Published: 15 May 2017. DOI: [http://dx.doi.org/10.1016/S1474-4422\(17\)30115-1](http://dx.doi.org/10.1016/S1474-4422(17)30115-1).
2. Wendy P. Battisti, Elizabeth Wager, Lise Baltzer et al. Good Publication Practice for Communicating Company-Sponsored Medical Research: GPP3. Ann Intern Med. 2015;163:461-464.

この件に関するお問合せ先:

(株)マッキャン・ワールドグループ ホールディングス

コーポレート・コミュニケーションズ 大木 美代子

Tel: 03-3746-8550(直通) e-mail: miyoko.ohki@mccannwg.com